

取組	山口県立下関工科高校の生徒を対象に海事産業見学会を開催しました ～下関市内にある全国有数の技術を持つ事業所を見学～		
主催	九州海事産業次世代人材育成推進協議会 (共催:九州海事広報協会)	分野	海事産業(造船)
分類	海事産業見学会	対象	高校生
目的 (背景等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山口県立下関工科高校は、全国に6校しかない造船コースを有する高校のひとつで、機械工学科の生徒は2年進級時が造船コースへの選択時期となっています。本見学会の開催が造船コース希望者の増加に繋がり、下関地域の造船所・船用工業事業所の人材確保に寄与できればと考えて見学会を開催しました。 		
取組の概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年12月8日(火)、11日(金)に(株)ニシエフ(下関市)、(株)瀬戸崎鐵工所(同市)で開催しました。 ○ (株)ニシエフでは、FRP(繊維強化プラスチック)船の工場で建造中の総トン数80トンの大型漁船や特殊艇(海上保安庁等が使用する高速で操縦性に優れた船)・救命艇を見学しました。 ○ (株)瀬戸崎鐵工所では200m以上の大型船に取り付けるウインドラス(揚錨機)やムアリングウインチ(係船装置)の製造過程を見学し、最後にはウインドラスの運転体験をしました。 ○ 見学会の終わりには、それぞれの会社で働くOB・OGとの交流の場もあり、生徒からは「仕事のやりがいは何ですか?」「就職の決め手は何ですか?」などの質問が上がり、和気あいあいとした雰囲気の中での見学会となりました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見学会実施後に行ったアンケートでは、大半の生徒が見学会前はFRP船や船用工業について知らなかったと回答していますが、見学会の実施により9割強の生徒がそれぞれの業種について興味を持ったと回答しています。 ○ また、生徒の感想の中には、「機械関連への就職を考えていたが、造船にも興味を持った。在学中にしっかり考えたい。」などがありました。 ○ アンケート項目の「卒業後の進路」で「造船業及び船用工業」を選択した生徒は10%と低かったものの、取り組み次第で興味を持ってもらうことが期待できるため、今後、ますます海事産業に関する情報発信や体験機会の提供を強めていく必要があると実感しました。 ○ 事業者様からも「情報発信の必要性を感じながらも、なかなか出来ずにいるため貴重な機会である」と好意的な意見を頂きました。 		